

日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区

(2) 事業所の所在地

広島県呉市昭和町11番1号

(3) 業種

2211 高炉による製鉄業

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25（2013）年度を基準年度とし、令和3（2021）年度から令和12（2030）年度までの10年間とする。

3 計画の基本的な方向

基本的な考え方

当社は、「環境経営」を基軸とし、環境への負荷の少ない環境保全型社会の構築に貢献する。このため、良好な生活環境の維持向上や廃棄物削減・リサイクルの促進など地域における環境保全の視点を踏まえた事業活動を行うとともに、地球温暖化問題への対応や生物多様性の維持・改善など、地球規模の課題にも積極的に取り組む。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成25(2013)年度	令和3(2021)年度
二酸化炭素	6,309,866	1,814,341

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成25(2013)年度	令和3(2021)年度
二酸化炭素	319,145	77,880

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成25(2013)年度	令和3(2021)年度
メタン	4,464	1,256
一酸化二窒素	3,339	616
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成25 (2013) 年度)	削減目標		目標年度 (令和12 (2030) 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2	6,309,866	100.0	6,309,866	0
非エネルギー起源CO2	319,145	100.0	319,145	0
メタン	4,464	100.0	4,464	0
一酸化二窒素	3,339	100.0	3,339	0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計	6,636,814	100.0	6,636,814	0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方	令和5(2023)年度上期末の呉地区全休止予定を考慮して削減目標を設定した。			

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 () 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 () 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2				#VALUE!			
非エネルギー起源CO2				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1	燃料使用量の削減	数値目標は設定せず (生産量に応じて可能な限り削減に努める。)	生産量に応じた最適な炉稼働
2			
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

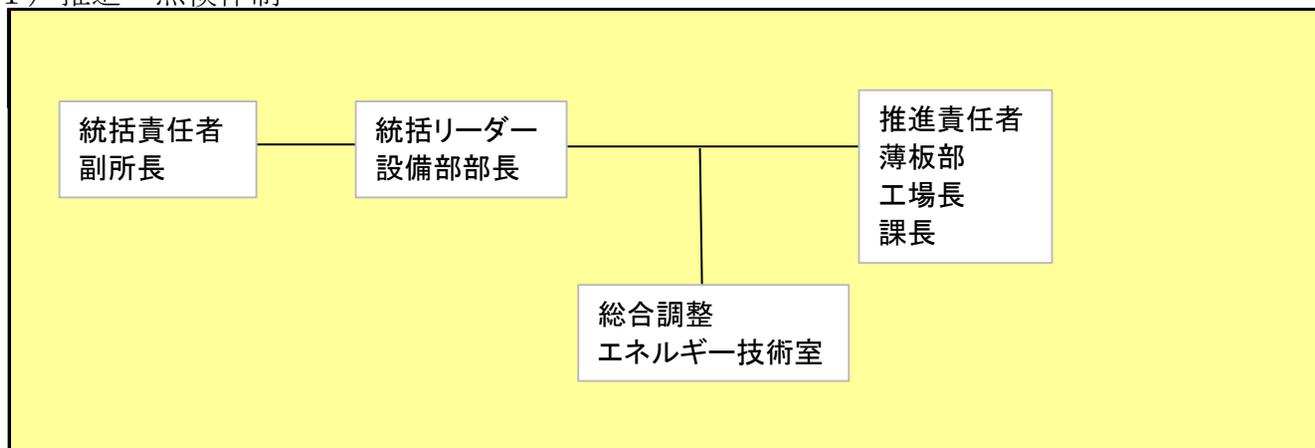
○ その他の取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1	廃棄物の削減	数値目標は設定せず	<ul style="list-style-type: none"> ・両面コピー及び裏紙の再利用 ・分別収集によるリサイクル資源化
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

エネルギー技術室を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の実施状況を把握するとともに問題点の検討を行い、必要に応じて見直し等を行い継続的な削減に努める。

(3) 計画書等の公表

事務所に備え付けて閲覧する。

事業所位置図

